

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587036904	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小川 さやか, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 田山 淳 / Tayama Jiyun, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai, ピーター・バーニック / Bernic Peter		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小川 さやか		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai, ピ ーター・バーニック / Bernic Peter		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館4F第42講義室 / Room 42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jtayama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育 現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 授業態度30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美 奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著), 福村出版, 2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著), ナカニシヤ出版, 2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集), ほんの森出版, 2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集), 学文社, 2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして?: 河村 茂雄, 図書文化社, 2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子, 日本評論社, 2012		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法（1）	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法（2）	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて（1）	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて（2）	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて（1）	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて（2）	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D
第12回	心理教育について	A B C D

第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D
第16回	テスト	A B C D

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587037702	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部技術美術教棟115室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8:00?8:45及び昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価 (50%) 最終レポート (30%) 講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	衣食住に関わる日常生活、環境、健康		
教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。 エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014：世界自然保護基金ジャパン エネルギー経済統計要覧：省エネルギーセンター、エネルギー白書：経済産業省、環境・循環型社 会・生物多様性白書：環境省など		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	生活や社会を改善したい、未来のエネルギー社会を考えたい学生		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	実験があるために受講人数 (40人程度) の制限があります		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講 師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、 子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/ 鎌田 英一郎/教育現場における教員経験/教員経験を活かし、学校現場での授業内容と大学での講義 内容の関連性、授業づくり、教材作りへの活かし方等を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(概要、ねらい、ルール)、アイスブレイキング 講義:主体的に学ぶには(リスク認知調査含む) 担当:藤本登
第2回	テーマ:持続可能な社会を目指して!?(エコロジカルフットプリントの概要と政策決定) 第3回の宿題を提示(次回までに必ず行っておくこと) 担当:藤本登
第3回	テーマ:持続可能な社会を目指して!?(各自のエコロジカルフットプリントから自らの生活を振り 返る、予測不能な未来を生き抜くためには) 担当:藤本登
第4回	テーマ:リスクから環境や社会を考える?(リスク認知調査結果の分析と情報認識・伝達) 担当:藤本登
第5回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?@ (水、食:バーチャルウォーター) 担当:鎌田英一郎
第6回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?A (水、食:バーチャルウォーター) 担当:鎌田英一郎
第7回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?B (生物生産の科学技術) 担当:鎌田英一郎
第8回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?C生物生産の科学技術) 担当:鎌田英一郎
第9回	テーマ:持続可能な社会を目指して?食料生産から考える持続可能性??@ 担当:鎌田英一郎
第10回	テーマ:持続可能な社会を目指して?食料生産から考える持続可能性??A 担当:鎌田英一郎
第11回	テーマ:未来のエネルギー社会を考える(電源の特徴を踏まえて2030年の電源構成を創造する) 担当:藤本登
第12回	テーマ:原子力から未来社会を考える(放射線の影響と利用・放射線関連の実験) 担当:藤本登
第13回	テーマ:電気のゴミを考える?(高レベル放射性廃棄物処理とは) 担当:藤本登(原子力発電環境整備機構:NUMOとのコラボWS)
第14回	テーマ:電気のゴミを考える?(高レベル放射性廃棄物処分地選定) 担当:藤本登(原子力発電環境整備機構:NUMOとのコラボWS)
第15回	全体討議:持続可能な社会に必要な人材とは 担当:藤本登

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587038502	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (環境と社会) / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 土肥 大次郎 / Dohi Daijirou, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 土肥 大次郎 / Dohi Daijirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部の学生で「教育と社会」のテーマ (b20) を選択したもの		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino nagasaki-u.ac.jp (星野), ddohi nagasaki-u.ac.jp (土肥) (メールを送信する を@ に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階 415研究室 (星野) 教育学部6階 608研究室 (土肥)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野) 095-819-2306 (土肥)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日以外の昼休み (星野) 火曜2 (土肥)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因 がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸 外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。 長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えて いるかを多角的に調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのような 影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会と の関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1回から10回までの評価: 授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評 価割合は、定期考査50%、授業中の小テスト20%、課題レポート20%、発表10%として評価 する。11回から15回までの評価: 授業中の課題レポートや発表等80%、小テスト20%により評 価する。合格基準は、これらの総合点で60%以上とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。ま た、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。		
キーワード/Keywords	環境基本法、環境基準、ドイツの環境事情、ネパールの環境事情、長崎県の環境課題		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 くらしの安全科学」共立出版		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	定員を80名までとします。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y/N）	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name/Details of practical experience/Contents of course	土肥 大次郎/中学校、高等学校の教諭/実務経験に基づき、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法について、本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/	
授業計画詳細/Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents	授業手法/Lesson method
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリント（日本の公害・長崎の公害）を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリントを課す。	A
第2回	環境法規（長崎県の環境基本計画を含む）とドイツの環境事情について、星野がプレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる演習プリントを課す。ネパール国についての課題プリントを課す。	A
第3回	ゲストスピーカー（西九州大学 横尾美智代 教授）からネパールの環境事情について、講話を聞き、講話に関する小レポートをまとめる。	A
第4回	本授業で取り上げる6つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンによる発表日を決める。星野がプレゼンの例を行う。	B
第5回	テーマ1,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。1班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ1について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ1に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第6回	テーマ2,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。2班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ2について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ2に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第7回	テーマ3,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。3班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ3について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ3に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第8回	テーマ4,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。4班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ4について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ4に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第9回	テーマ5,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。5班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ5について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ5に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第10回	テーマ6,たとえば「諸外国の環境事情」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。6班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ6について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ6に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第11回	一人ひとりが地球規模の環境問題について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第12回	一人ひとりが地球規模の環境問題について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第13回	一人ひとりが九州地方などの環境問題や自然災害について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第14回	一人ひとりが九州地方などの環境問題や自然災害について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第15回	一人ひとりが公害・環境問題の認知に関して調べ、整理し、レポートを作成する。小テストも実施する。	A
第16回	定期試験	A